

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成23年10月3日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

●需要面

大型小売店販売額(店舗調整後)は前年を下回ったが、ホームセンター・家電量販店販売額は上回った。(7月)

新設住宅着工戸数は前年を上回ったが、乗用車新車新規登録台数、用途別着工建築物工事金額及び公共工事請負金額は前年を下回った。(8月)

●産業面

鉱工業生産指数は、季節調整済指数が前月を上回ったが、原指数は前年を下回った。(7月)

●雇用面

きまって支給する給与は前年を上回ったが、所定外労働時間は前年を下回った。(7月)

求人倍率は、新規・有効ともに前月を上回った。新規求人数も前年を上回った。(8月)

○需要面の動き

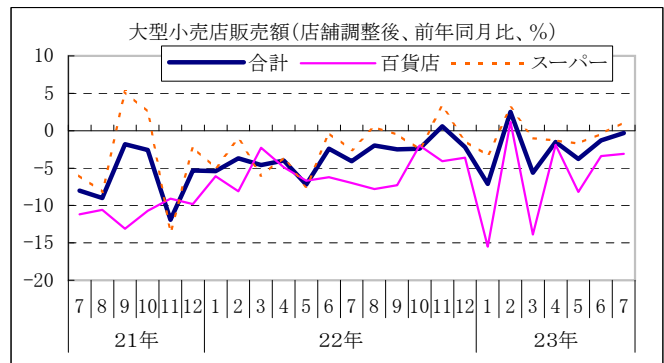
大型小売店販売額(7月)

全店舗の販売額は、54億900万円(前年同月比0.3%減)と5か月続けて前年を下回り、店舗調整後でも前年を下回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比	
合計	540,900	▲0.3	(▲0.3)
百貨店	172,400	▲3.1	(▲3.1)
スーパー	368,400	1.1	(1.1)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(7月)

42億9,300万円(前年同月比5.5%増)と3か月続けて前年を上回った。

乗用車新車新規登録台数(8月)

1,326台(前年同月比29.3%減)と12か月続いて前年を下回った。普通車、小型車及び軽自動車の全ての区分で前年を下回った。

新設住宅着工戸数(8月)

181戸(前年同月比1.7%増)と2か月ぶりに前年を上回った。持家系(前年同月比39.4%増)は前年を上回ったが、貸家系(前年同月比51.4%減)は前年を下回った。

用途別着工建築物工事金額(8月)

11億2,700万円(前年同月比45.2%減)と2か月連続して前年を下回った。用途別では、卸売業・小売業(前年同月比709.9%増)等で前年を上回り、医療・福祉(前年同月比7.8%減)等で前年を下回った。

公共工事請負金額(8月)

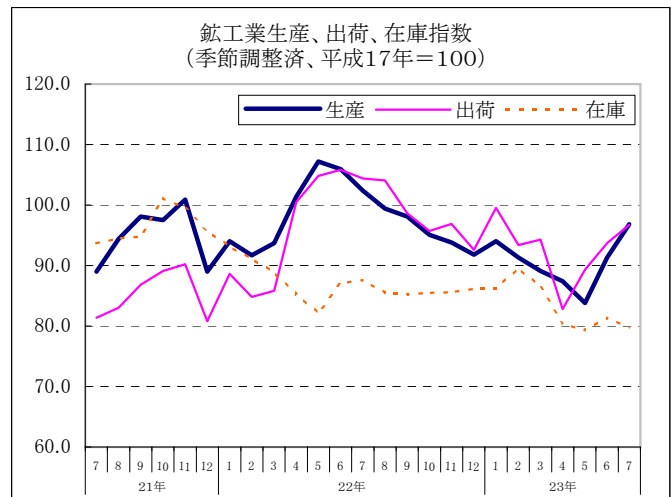
67億4,300万円(前年同月比21.5%減)と14か月続いて前年を下回った。発注者別の内訳では、国(前年同月比55.1%減)及び県(前年同月比25.9%減)は前年を下回ったが、市町村(前年同月比29.7%増)は前年を上回った。

○産業面の動き

鉱工業指数(7月)

生産指数(季節調整済)は96.8(前月比6.0%上昇)と2か月連続の上昇となったが、原指数は98.3(前年同月比7.8%低下)と6か月連続の低下となった。

内訳を前月比で見ると、食料品・たばこが7.9%低下となり3か月ぶりの低下、電子部品・デバイスが5.8%低下となり2か月連続の低下、電気機械が5.8%低下となり2か月ぶりの低下、一般機械が10.8%上昇となり3か月ぶりの上昇となった。在庫指数(季節調整済)は79.8と前月比2.0%低下した。



大口需要電力実績(7月)

128,930千kwh(前年同月比10.8%減)と2か月連続して前年を下回った。鉱工業用の大口需要電力を主要4区分で見ると、鉄鋼及びその他の製造の区分で前年を上回ったが、それ以外の区分では前年を下回った。

青果物卸売量(8月、鳥取市場)

野菜が1,322t(前年同月比0.2%増)と3か月ぶりに前年を上回り、果実は934t(前年同月比3.0%増)と4か月ぶりに前年を上回った。

漁獲量(8月、境港)

5,981t(前年同月比7.5%減)と前年を下回った。

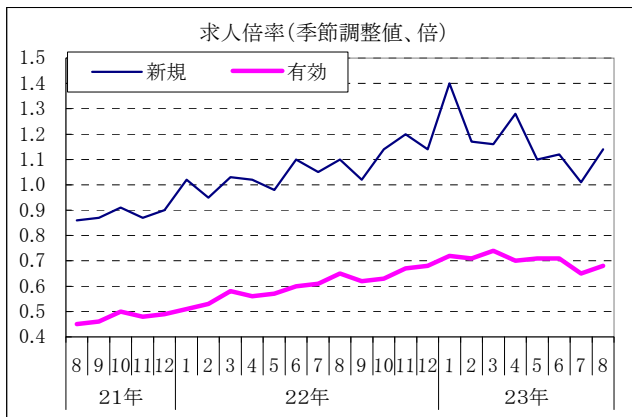
○雇用・金融面の動き

新規求人倍率(8月)

1.14倍(前月差0.13ポイント上昇、前年同月差0.04ポイント上昇)であった。なお、新規求人数は、4,026人(前年同月比10.1%増)と2か月ぶりに前年を上回った。

有効求人倍率(8月)

0.68倍(前月差0.03ポイント上昇、前年同月差0.03ポイント上昇)となっており、2か月続けて0.6倍台となった。



現金給与総額(7月)

348,030円(前年同月比1.6%減)と2か月ぶりに前年を下回った。そのうち、きまって支給する給与は、242,918円(前年同月比0.2%増)で3か月続けて前年を上回った。

所定外労働時間(7月)

7.7時間(前年同月比3.7%減)と2か月連続して前年を下回った。製造業も前年同月比3.7%減と3か月連続して前年を下回った。

預金・貸出金残高(7月末)

預金残高は、2兆956億円(前年同月比3.8%増)と31か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,309億円(前年同月比1.3%減)と5か月連続して前年を下回った。

○参考

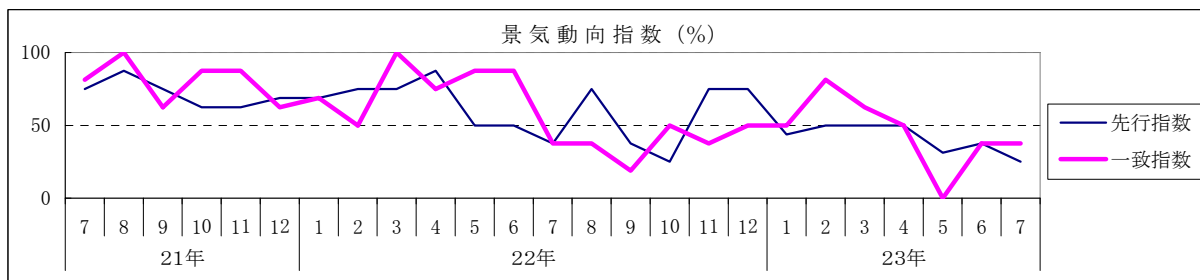
鳥取県景気動向指数(7月)

先行指数25.0%、一致指数37.5%、遅行指数40.0%となった。

先行指数は3か月続けて50%未満となった。

一致指数も3か月続けて50%未満となった。

遅行指数も3か月続けて50%未満となった。



企業倒産(8月)

件数は5件で前年に比べて4件増加、負債総額は7億5,600万円の前年に比べて6億5,600万円増加した。

消費者物価指数(8月、鳥取市、総合、平成22年=100)

100.0となり、前月比(0.1%)は低下、前年同月比(0.3%)は上昇となった。

鳥取県の推計人口(9月1日現在)

584,733人で、前月と比べて24人(0.00%)減少し、前年同月と比べて3,246人(0.55%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成23年8月調査)

平成23年7~9月期は、景気判断BSIがプラス5となり、平成23年4~6月期に比べて40ポイント改善している。